

I 「メディアを中心に動く政治 (media-centered politics)」 という規範、そしてその揺らぎ

- ・ アメリカ建国、「権利章典」、マックレーカーから「ウォーターゲート事件」
- ・ 世論の重要性
- ・ 開放的な政策過程と権力の分立
- ・ 「リベラル・バイアス」論と保守の「エコーチェンバー」
- ・ 政治ニュースサイトの発展とソーシャルメディア
- ・ メディアと政治の「回転ドア」
- ・ 報道に対する不信

II 危機に瀕するアメリカのメディア

- ・ 内容の面でも経済的にも大きな危機・転機
- ・ 「市場」のマーケティングに合わせた政治情報提供
- ・ 「メディアの分極化 (media polarization)」
- ・ 構造的な理由：「政治的分極化 (political polarization)」、1980年代のCATV、衛星放送の導入による多チャンネル化、さらには90年代半ば以降のインターネットの爆発的普及、規制緩和
- ・ 報道にとって自殺行為
- ・ エンタメ化：コメディのニュース
- ・ 技術的な変化：地方紙は次々に廃刊、新聞各紙はウェブ版が主戦場、AI（人工知能）を使った「ニュース制作」
- ・ メディアの危機は政治の危機でもある。政治情報は民主主義の血液

III アメリカの政治過程におけるメディアの今後

- ・ 処方箋としてのファクトチェックの可能性とその限界
- ・ 政治的分極化の終焉の可能性
- ・ 技術革新の可能性
- ・ 日本への含意